

2020 6・22 毎週月曜 第5週除く 第1154号

週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所 〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-12 2F TEL 03(3543)7421 FAX 03(3543)5839 発行人 垂澤清三 年間購読料 30,000円(税込)

編集後記 コロナ禍で変わるものはいくつもある。というより「コロナ前」「コロナ後」という表現になるほど。映画やドラマで握手をする場面があったら「コロナ前」の時代設定、夏にマスク姿の映像なら「コロナ後」。観客密着ライブの映像は「コロナ前」。チケット売れでもソーシャルディスタンスで席を間引き満席にならない劇場客席は「コロナ後」。さらには劇団四季が経営危機のためクラウドファンディングを開始した。わずか2日で約6千人参加、8500万円以上集まった。劇場の「コロナ後」が変わらず熱い舞台空間であることを願ってやまない。(高橋)

不動産業界 ニュースサイト 「ビルモール」は 毎週月曜日更新



用途の大転換でビル再生

ビルの 転身

建物は用途を決めたうえで建てられるもの。ビルであればオフィスビルや商業ビルとして建てられ、当初は予定通りに企業や飲食店舗が入居するが、時の流れや時勢に応じ、当初の目的とはまったく違う用途へ大転換することもある。エンターテインメントビルや学生寮へ生まれ変わった事例をご紹介します。

官民連携の プロジェクト

は入居学生を斡旋し、県と市は改修費補助やスキームづくりなど連携を調整する。

ビルの活用方法が広がっている。オフィスや店舗ではなく、1棟丸ごと遊ぶためのエンターテインメントビルや学生寮など、単なるリノベーションの域を超えたビルの転身が生み出されている。山形県山形市では、地元大学の学長の発案からプロジェクトが始まった。今春、市内のビルが「学生寮」として生まれ変わった。山形県、山形市、山形大学、東北芸術工科大学、および山形県すまいるまちづくり公社が連携したプロジェクトは、「準学生寮供給」。中心市街地の空きビルを学生のための住まいにもつたない、何かでリノベーションするときに「このビルが、2つの大学ないか」と2018年



山形市の学生寮「山形クラス」日町一丁目ビル

地域再生方法を模索

当社は海 域再生方法を模索し、外での都市 計画、再開 発、地域再 生の研修等 に参加し見 分をあげ、 山形での地 画、再開 発、地域再 生の研修等 に参加し見 分をあげ、 山形での地 画、再開 発、地域再 生の研修等 に参加し見 分をあげ、



リズミノベーション 取締役 今野 勝敏氏

「山形クラス」ビルは1988年竣工、地上5階、地下1階建て。山形市の中心商業地域に立つ。同社が購入した2018年当時、1、2階のイタリア料理店の4階をどう使用するか、いろいろな計画が

「山形クラス」ビルは1988年竣工、地上5階、地下1階建て。山形市の中心商業地域に立つ。同社が購入した2018年当時、1、2階のイタリア料理店の4階をどう使用するか、いろいろな計画が

ビルを学生寮に、郵便局をエンタメに 地域活性化へ

「アソビル」は、昨年3月オープン。ビル1階の飲食店が並ぶ横丁エリアは正面入り口から、「横浜」駅直通の入り口まで、近隣の通勤者の通り抜けも歓迎だ。開業以来、1年で360万人以上が来場する人気スポットはビル1棟丸ごと、各階を



山形大学、東北芸術工科大学の学生が住む学生寮の共有部。



「アソビル」の鮮やかなアート

採光面積や部屋数 転換の苦勞乗り越え

「一つ目の障壁は期日の壁でした。前例のない全国初の取り組みの為、市県の方々と打ち合わせの日々。担当者

老若男女問わず 通勤・通学路の利用も

「アソビル」来 場者数 利用され、横浜市民の は、目標 飲食や遊びの場所として使われております。 お客様の層は幅広い。家族連れ、カップル、学生、ご年配の方 1年で3 まで、老若男女問わず



7カ所ライオンエンターテインメント マーケティング 山岡 大介氏



郵便マーク「〒」の下にカラフルなロゴ



3階は国内最大級のハンドメイド体験フロア

「アソビル」は、昨年3月オープン。ビル1階の飲食店が並ぶ横丁エリアは正面入り口から、「横浜」駅直通の入り口まで、近隣の通勤者の通り抜けも歓迎だ。開業以来、1年で360万人以上が来場する人気スポットはビル1棟丸ごと、各階を

「アソビル」は、昨年3月オープン。ビル1階の飲食店が並ぶ横丁エリアは正面入り口から、「横浜」駅直通の入り口まで、近隣の通勤者の通り抜けも歓迎だ。開業以来、1年で360万人以上が来場する人気スポットはビル1棟丸ごと、各階を